

2023 **1** No.316 令和5年1月1日



発行所／羅臼漁業協同組合

編集長／佐々木 公夫  
編集事務局長／齊藤 真司  
印刷／雨宮印刷株式会社

# 羅臼

組合だより

# 謹賀新年



# 新年を迎え組合員の皆様にご挨拶を申し上げます



代表理事組合長  
萬屋 昭 洋

新年明けましておめでとうございます。

令和5年の新春を皆様とともに迎える事ができました事を心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年を顧みますと国内の経済情勢は、世界的な円安や原材料費高騰に伴う物価上昇等への注意が必要である中、ウィズコロナへの移行が進む事で持ち直し傾向にある一方、今後は新型コロナウイルスに対する措置の緩和や円安が進む中でのインバウンド需要が期待されるなど行動制限緩和により、サービス消費は持ち直し傾向が続くものの、消費全体の勢いはウクライナ情勢

や世界的なエネルギー・食料不足の事態が想定される事から、依然として不透明さを払拭できない状況にあります。

道内経済においても企業倒産が増加し、公共事業は持ち直しの動きが弱いものの、生産活動や雇用情勢、また個人消費では経済社会活動の正常化が進む中で全体として持ち直しの動きが見られ、今後の動向に注視する必要があります。

一方、漁業情勢においては、第5次水産基本計画の目標である「持続性のある水産業の成長産業化と漁村の活性化の実現」に向け、TAC魚種をはじめ、

水産資源管理、海中・陸上養殖など、目標に向けた取組みが実施されていく事に加え、組合員の高齢化と減少が進む中で、漁業資源の減少や魚価安傾向が続くなど、資源増大と消流回復・拡大への取組みが喫緊の課題となっております。

近年は海洋環境の変化により、令和4年度においては前年のような太平洋側で発生した赤潮被害は確認されなかったものの、当羅臼海域でもホタテ貝のへい死が数年続いており、その原因究明が急がれる所であります。また一部の魚種では資源回復の傾向が見られ、特に極端な不振が続いていた「秋さけ」の来遊数が増加したものの、総じて水産資源は低水準にあり、更に長年の懸案事項であるロシアトロール船操業による資源減少や漁具被害、海獣による漁業被害など、獲る漁業にとって大変厳しい漁業経営を強いられ、組合経営にも多大な影響を及ぼしている状況にあります。

この様な中、当組合の昨年の

取扱高につきましては、一部で魚価安となった魚種が見られ、「ほっけ」については計画を下回ったものの、主要魚種である「すけそ」に加え、5年連続で不振が続く「秋鮭」の来遊数が増加し、計画を大きく上回った事や過去最高の数量・金額となった「ぶり」の豊漁により、鮮魚の取扱いは数量で2万1千トン台、金額は65億円を上回る結果となる見込みであります。

一方、製品においては、天然昆布が計画を12トン下回りましたが、養殖昆布は計画を10トン上回り、加工系を含め、全体では若干下回る数量となりましたが、金額では計画を2千3百万円ほど上回る8億8百万円の取扱いとなりました。

また、ほたて貝については、令和4年度も前年に続き、稚貝の成育不良となりましたが、取引先組合のご理解を頂いた中で、契約粒数を出荷する事ができ、中成貝はへい死により減産となりましたが、成貝は順調に推移し増産となった事に加え、中成貝・成貝の単価が高値で推移した結果、計画を1億4千5百万円ほど上回る13億3千1百万円の取扱見込みとなりました。

これら鮮魚・製品を合わせた総取扱金額は87億円台となり、令和元年度以来の80億円

台の取扱見込みとなっております。

しかしながら、昨今の厳しい漁業環境や情勢を踏まえ、本年度の事業運営においては、昨年度樹立した第12次中期経営計画を基本に組合員の所得向上を優先課題として取組み、漁業権の有効活用、育てる漁業への転換や漁業類型の見直しを含む漁業調整の検討の他に漁場環境整備や資源増大・保護対策への的確な対策・対応を図り、組合員皆様の経営安定と持続的な漁業発展を目標に役員一丸となって取り組んで参りますので、尚一層のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、新しい年が皆様方にとりまして、海難事故が無く大漁で素晴らしい年でありますようご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

他役員一同



# 羅白町長より 新年のご挨拶



羅白町長  
湊屋 稔

新年明けましておめでとうございます。  
皆様方におかれましては、明

るく希望に満ちた輝かしい新年  
をお迎えになられましたこと、  
心からお慶び申し上げます。

また、組合員の皆様には、常  
日頃より町行政の推進に対し  
して深いご理解とお力添えを賜  
り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返ります  
と、我が町の基幹産業でありま  
す水産業においては、鮮魚全体  
で見ると漁獲取扱高は昨年を上  
回ったものの、漁獲量としては  
昨年と同程度にとどまり、沿岸  
における漁業資源の減少は依然

として厳しい状況が続いており  
ます。

さらには、原油や物価・資材  
の価格高騰により漁業経営者  
をはじめ、町内経済全体へ総じ  
て影響を及ぼしており、町とし  
ても事業者等への支援対策に

取り組んでいるところであり  
ますが、先行きの見えない不安  
定な状況が続いていることに、  
非常にもどかしいところでも  
あります。

また、斜里町で発生した観光  
船事故は、多くの尊い命が奪わ  
れた未曾有の惨事となり、二度  
と繰り返してはならない事故と  
して、皆さんの中にも刻まれた

ことと思います。

搜索にあたっては、羅白救難  
所として全船あげて搜索活動  
にあたっていただいたことに  
心より感謝を申し上げますと  
ともに、いまだ行方不明者と  
なっている方々が一日も早く  
発見されることを心より願っ  
ております。

暗い話題ばかりをお話しして  
しまいました。そのような中  
にあっても、明るく希望に満ち  
た新たな事業も展開されてお  
ります。

その一つとして、令和3年度  
に実施した未来創造型実行委員  
会による道外先進地視察研修  
を経て、民間異業種の若者たち  
で組織された「陸上養殖推進研  
究会」が発足され、羅白町にお  
ける陸上養殖の可能性について  
魚種の選定や施設などの研究環  
境について検討が開始されてお  
ります。町としても若い町民の  
方々が自ら考え行動する姿勢を  
尊重し、将来像を描いていける  
よう支援してまいりたいと考え  
ております。

また、女性による新たな参画  
も生まれております。

観光客などに羅白で漁獲され  
た海産物のおいしさを味わって  
いただき楽しんでもらう場を  
と、JoinerRausu美活  
塾による「浜のかあちゃん食堂」  
の開業に向けた準備が進めら  
れております。地元産魚介類を  
使った料理を提供することで、  
より羅白の魚を身近に感じて  
もらい、観光船などのアクティ  
ビティーや道の駅のキャパシ  
ティーを補い各観光分野との連  
携による相乗効果が図られるも  
の期待をしているところであ  
ります。

こうした若い力や女性の活躍  
は、羅白町の水産業を支える取  
り組みとして、その枠を超えて  
様々な分野に波及し、地域に根  
付く取り組みとなることを願っ  
ております。

国内的にも又国際的にも漁業  
を取り巻く情勢が大きく変化  
している中、依然として続けら  
れている根室海峡でのロシアの  
ロール船操業問題やロシアのウ  
クライナ侵攻を発端とした北方  
領土周辺海域における安全操業  
の出漁問題、さらには人口減少  
や流出による漁業従事者の後継

者不足など、漁業が基幹産業の  
我が町にとって大きな課題がま  
だまだ山積されております。

町としても引き続き水産業の  
安定化と持続的な経営環境の確  
立に向けて、新たな視点、考え  
方に立ち、羅白漁業協同組合と  
一体となり課題解決に向けて努  
力して参ります。

結びにあたり、新型コロナウイルス  
感染症の一日も早い収束  
を願うとともに、本年の豊漁を  
期待し、羅白の活力を生み出し  
躍進する一年にしたいと考えて  
おりますので、皆様の一層のお  
力添えをお願い申し上げますと  
ともに、「魚の城下町らうす」の  
益々の繁栄を願い、当町産業を  
支える組合員の皆様と、ご家族  
の皆様のご健康とご多幸をご  
祈念申し上げ、新年のご挨拶と  
させていただきます。

令和5年 元旦



## 海上保安署より 新年のご挨拶



羅臼海上保安署長  
長崎 孝 俊

新年明けましておめでとうござい  
ます。

羅臼漁業協同組合の皆様、ご家族  
の皆様におかれましては、健やかに  
令和五年の良き年をお迎えのことと  
心よりお慶び申し上げます。また、  
平素より海上保安業務へのご理解・  
ご協力をいただいておりますことに  
厚く御礼申し上げます。

昨年は、知床沖観光船の事故に伴  
い船舶運航にかかる安全管理に関し  
てかつてないほど関心が高まった  
年でありました。漁業に関して言え  
ば、船舶の運航に加え漁労活動があ  
り、さらに羅臼近海における厳しい  
自然環境のことを踏まえれば、なお  
一層の安全管理が必要なのは言うま  
でもありません。皆様方の安全に対  
する意識の高さは、先人たちからの  
教えや、経験の積み重ねにより培わ  
れているかと思いますが、今後も油  
断することなく、安全を最優先に操  
業していただきたいと思えます。

さて、ロシアによるウクライナ侵  
攻後、欧米諸国と同調して経済制裁  
に踏み切った日本はロシア政府から  
「非友好国」に指定され、このため安  
全操業に関しては、非常に緊迫した  
滑り出しとなりました。ロシア国境  
警備局による「洋上見学」の件数は  
令和三年を大きく上回り、皆様方  
におかれましては、相当な不安があ

るのではないかと推察しておりま  
す。現場配備の巡視船艇としてはロ  
シア側の対応にこれまで以上に注視  
し、皆様方の安全な操業に寄与すべ  
く対処していく所存です。

また、新年を迎えまもなくすると  
羅臼沖にも流水が到来する時期と  
なり、何かと不安がつきまとうこと  
と思えます。厳冬期における船舶海  
難は常に危険にさらされることとな  
り、近年では、漁船8隻が流水に阻  
まれ運航不能となった事案がありま  
した。救助要請から救助完了まで10  
時間近く要しており、同事案におい  
ては漁船1隻が機関過負荷による焼  
き付きのため自力航行不能となつて  
おります。幸いにも僚船によりえい  
航され事なきを得ていますが、この  
ような事態が発生しないよう出漁の  
可否判断は適切に行っていただきた  
いと思えます。

令和五年は、十干十二支で「癸卯」  
(みずのと)となります。調べてみ  
ますと「癸」は、水の属性で新たな  
生命が成長し始めている状態を意  
味し、「卯」は、春の訪れ、方角では  
「東」、また「うさぎ」にも例えられ  
一般に飛躍する年などと言われてい  
ます。この数年は新型コロナウイル  
ス感染症拡大やロシアによるウクラ  
イナ侵攻の影響により観光需要の落  
ち込み、物価高、燃料油の高騰など  
明るいニュースはありませんでした  
が、本年は「癸卯」が意味するよう  
な良き年になればと切に願っている  
次第です。

終わりに、私ども羅臼海上保安署  
職員一同、海で働く皆様の安全・安  
心を支えるべく本年をスタートさせ  
て参りたいと思えますので、今後と  
も皆様のご協力を賜りますようお願い  
申し上げますとともに、皆様方の  
安全と豊漁をご祈念申し上げます。新年  
のご挨拶といたします。

## ロシアトロール船即時操業停止・トド被害対策に係る要請活動について

令和四年十月二十五日～二十六日  
の両日において、北海道水産林務部、  
北海道議会、水産庁、農林水産省、外  
務省、北海道選出国会議員へロシアト  
ロール船即時停止、トド被害防止に係  
る要請を行って参りました。コロナ禍  
でありましたが三年ぶりに羅臼、標  
津、別海の三町・三議会・三漁協にお  
ける要請活動となりました。狭い根室  
海峡海域で繰り返し操業が行われてい  
る大型ロシアトロール船により水産資  
源は大きく減少していることや浅海域  
まで操業が行われていることから底  
質が破壊され産卵場も失っていること  
も明白であり地元や漁業者は大きなダ  
メージを受けている深刻な重要な問  
題であり、資源管理の観点からも到底  
許されない操業であることから即時  
停止を訴え、また、トドによる漁業被  
害においても、回遊範囲が広大である  
こと、漁獲量が減少している中で漁獲  
物・漁具への被害は大変深刻であるこ  
と等捕獲数の見直しや支援対策等につ  
いて要請を行いました。

二十四日は中司北海道議会議員、山崎  
北海道水産会副会長の同行のもと北海  
道水産林務部、北海道議会への要請を行  
いました。翌二十五日は水産庁、農林水  
産省においては伊東良孝衆議院議員、鈴  
木貴子衆議院議員の同行を頂き、外務省  
においても鈴木貴子衆議院議員の同行  
を頂きました。その後、北海道選出国会  
議員へ要請を行い、それぞれの要請先  
において、地元の窮状を聞いていただき、  
早急な対応を求めました。札幌要請にお  
いては、国に対してしっかりと求めてい  
きたい、トドにおいてもしっかりと対応で  
きるよう努力したい旨、中央要請におい  
ては、対ロシアにしっかりと粘り強く交渉し  
ていく、トド関係においては、しっかりと  
対応したい旨の発言がありました。これ  
までも継続して要請活動を行っておりま  
すが解決には至っておりません。しかし  
この問題が少しずつでも前進し解決する  
よう粘り強く関係先へ要請を継続し、一  
日でも早い問題解決を願い、地元漁業が  
活性化されるよう引き続き要請活動を継続  
して参ります。



トロール等要請活動（鈴木宗男参議院議員）



トロール等要請活動（吉川外務大臣政務官）



トロール等要請活動（北海道議会）

## 東京世田谷区千歳船橋市

### 知床らうす物産展開催

「知床旅情」の作者であり羅臼町とゆかりの深い(故)森繁久弥氏との繋がりで、生前長年住んでいた東京世田谷区で十一月十九日、二十日に開催されたイベントに参加して参りました。

本年で八年目となるこのイベントはコロナの影響で三年ぶりの開催となりましたが、ここ千歳船橋では恒例イベントとして定着されており羅臼昆布を主とした羅臼特産品を買い求めるお客様で、両日共に賑わい、焼き物は開始前から長蛇の列となる程大盛況でした。又、船橋地区では羅臼昆布の知名度は高く、リピーターも多くみられ昆布製品を大量に購入していく方もみられました。森繁建氏からは今後も知床との繋がりを生かし、イベントを継続していきたいと伝えられ、二日間のイベントは大盛況の内終了致しました。



## 新宿でも大盛況! 新宿駅西口地下広場での羅臼昆布製品販売

十二月一日、三日の日程で、北方領土返還要求街頭啓発事業での北方領土隣接地域の特産品販売に参加し、羅臼昆布製品を相木養殖部会長と販売して参りました。

コロナの影響で3年ぶりの開催となりましたが、コロナ以前同様、羅臼昆布の認知度は高く、濃厚なダシが取れる凄いい昆布と言って一度に大量に購入される羅臼昆布ファン



がいる事は非常に嬉しいと感じました。

今回はコロナの影響もあり試飲・試食が出来なかつたので、ブース前に客足を止めさせる事が出来ず売上げ的には厳しい状況ではありましたが、満足のいく売上げ結果となりました。

この物販には十年程前から継続して参加しております。売上げも大事ですが、これからも少しでも多くの羅臼昆布ファンが増える様、この様な物販に限らず参加可能な物販には積極的に参加したいと思っております。

最後に当初から協力頂いている相木部会長、三日間本当にご苦労様でした。

## 定置青年会の出前授業

十月十六日、羅臼小学校の5年生を対象に出前授業を実施し、子供たちにロープワークとサケフレック作りを体験してもらいました。

ロープワークは漁師が使う結び方だけでなく靴紐の上手な結び方など実用的なものも教え、子供たちも楽しそうに取り組んでいました。

サケフレック作りでは蒸した鮭を熱い熱いと言いつつながらほぐし、美味しそうなにおいがするとはしゃぎながら取り組んでいました。



## 秋サケ町民還元

例年、定置漁業部会主催で実施している「秋サケ町民還元」を十月一日共栄町の二階建て漁港で行いました。

今年も秋サケの魚体が例年と比較しても小さかったですが漁は昨年よりも好漁で、年に一度のこのイベントを楽しみに待っている町民のため、全ての定置漁場がオスとメスを4尾ずつ提供し、オス・メス一尾ずつのセット三千円(税込)で販売しました。

今年もコロナ対策として秋さけ引換券の事前販売と、町民還元当日をどちらもドライブスルー方式とし、万全の感染対策の中で実施しました。

引換券の事前販売は九月二十八日に実施しましたが、販売開始直後に大勢の人に来ていただき、開始から数時間で完売しました。

町民還元当日は人がたくさん集まって盛り上がるようなことはできませんでしたが、受け取った鮭を見て喜んでくれる様子が多く見受けられました。



## 水産教室 鮭トバ作り体験

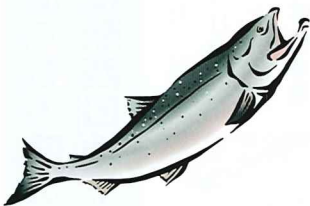
羅臼高校の水産教室を選択した4名の生徒が、羅臼漁協定置青年会員指導のもと、鮭トバ作りを体験しました。

トバ作り体験は十月二十四日から二十五日の二日間にかけて行われ、二十四日は鮭を捌くところから味付けまで生徒に体験してもらいました。高校生は手本を見ながら初めて握るマキリでサケを捌く作業に悪戦苦闘していました。

2日目は1日乾燥にかけた鮭を鮭トバの形に成形する縦割り作業を体験しました。

自分で作ったトバと青年会員が作った見本のトバを見比べて苦笑いを浮かべる生徒もいましたが、初めて作った鮭トバに満足して2日間のトバ作り体験を終了しました。

定置青年会では毎年「しれとば」と「ジョントバポルタ」という鮭トバ商品を製造しており、今回の水産教室だけでなく販売PR活動などを通し羅臼の鮭のPRのため幅広く活動しています。



## 漁協女性部 料理教室

十月二十五日羅臼小学校の6年生24名を対象に料理教室を開催しました。

品目はほたての塩焼きうどん、ホッケの煮込みハンバーグ、鮭としめじのクリームシチュー、フルーツポンチの4品で子供たちは初めて触るほたてや鮭に興味津々な様子で、女性部にやり方を教えてもらいながらほたて剥きなどにもチャレンジしていました。

コロナウイルス感染拡大防止のため2部屋に分かれての実食となりましたが、一生懸命自分で作った料理を食べ、とても楽しそうな様子でした。



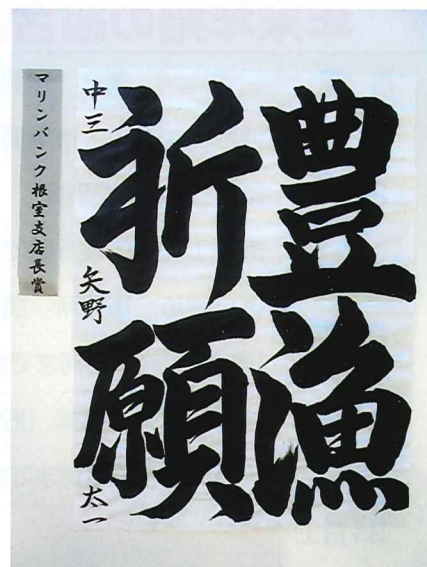
★習字の部★ (全道海の子作品展入賞者)

知床未来中学校3年	矢野 太一	最優秀	北海道知事賞
知床未来中学校1年	太田 雛	佳作	漁村文化開発基金理事長賞
羅臼小学校6年	木野本愛菜	佳作	漁村文化開発基金理事長賞

海の子作品展 全道入賞者決定!

羅臼町内の小中学生を対象とした「海の子作品展」の入賞者が決定しました。今年には図画7点、習字72点の出展がありました。図画については昆布漁業や定置漁業などの働く風景を描いた元気ある作品、習字については力作や傑作が多く、審査員が頭を悩ませながら厳正に審査が行われました。また、当組合での審査の結果、優秀な作品を「全道海の子作品展」に選出しましたところ、全道漁協から出展された、4,313点の作品から次の通り入選しました。

この「海の子作品展」は来年度も開催されますので、児童・生徒皆さんのからの沢山のご参加お待ちしております!



特別懸賞企画らうすマルシェⅫⅡ 当選番号一覧表

特賞	メンメ(5尾)・開きメンメ(5枚)	2271
1等	トキシラス4kg程度1尾	5161 6412
2等	ボタンエビ	2275 3076 6895 8417 9054
3等	新巻 鮭	37 865 1178 1812 3116 4227 4231 7155 8060 8368
4等	グルメセット(開きホッケ他)	79 83 737 996 1742 1745 1834 3078 3509 4271 5168 7186 7190 8538 8554
5等	魚卵詰合せ(瓶入各1個)	933 953 984 1103 1156 2516 2653 3606 3943 4155 4161 4183 4334 5239 5289 7135 7156 7196 9196 9281
6等	羅臼昆布だし・羅臼昆布ほん酢	96 114 137 812 816 820 840 994 1154 1184 1637 1701 1738 1748 1768 1864 2006 2027 2475 2523 3073 3082 3666 3731 4103 4154 4156 4333 5140 5162 5191 5279 6589 6609 6615 7115 7216 7740 8328 8537 9000 9130 9152 9192
特別賞	灯油(200ℓ)	1014 6980 7735

六月一日から十一月三十日の期間で実施しておりました当組合オリジナルの特別懸賞企画「らうすマルシェⅫⅡ」の抽選会が、十二月七日に組合役員室で行われました。

抽選会は菅原マリンバンク推進委員長・葛西副委員長にご出席を頂いた中で厳正に抽選を行い、対象者328件(9,281口)より左記の通り当選者が決定致しました。

尚、当選された方々には十二月中旬に景品の配達を終了しております。最後にご協力頂きました皆様方、誠にありがとうございます。今後ともマリンバンク羅臼漁協をよろしくお願い致します。

浜の特別懸賞企画  
らうすマルシェⅫⅡ  
当選結果について





令和四年七月から十二月までの期間中に人件費・出面賃・専従者給与を支給した事業主の方は源泉税の納付期限が翌年一月二十日までとなっております。(半年分まとめて納めることができる納期の特例承認を受けている場合)必ず期限までに納付するようにしましょう。

なお、信用部及び指導部窓口にて源泉処理を依頼される際は必ず納付書を持参して頂くようお願いいたします。納付書がお手元に無い場合は根室税務署へ直接連絡して頂き、再発行の手続きをしてください。

※根室税務署  
Tel.〇一五三一三三三三三三六一

## 年末年始の組合業務について

月 日	業 務 日 程	
27日(火)	沖合操業終了・市場最終荷受日	
	第22回最終理事会	
	海鮮工房～午後5時で終了	
28日(水)	御用納め 事務所・購買：午前中で業務終了	
	【貯金窓口午後3時まで営業・ATM午後4時まで稼働】	
29日(木)	マリンバンク営業（貯金業務のみ）	
30日(金)	【貯金窓口午後3時まで営業・ATM午後4時まで稼働】	
31日(土)	<b>全 業 務 休 業</b>	
1月1日(日)		
2日(月)		
3日(火)	マリンバンク営業（貯金業務のみ） 【貯金窓口午後3時まで営業・ATM午後4時まで稼働】	
4日(水)		購買店舗 休業
		無線局 宿直
5日(木)	沖合操業開始	
	マリンバンク営業（貯金業務のみ）	
	【貯金窓口午後3時まで営業・ATM午後4時まで稼働】	
	函 屋 午前9時～正午まで	
	購買店舗 午前9時～午後2時まで営業	
6日(金)	上 架 ※事故船の場合のみ上架対応	
	無線局 宿直	
	御用始め	
	大漁祈願祭～午前10時（羅臼神社）	
7日(土)	初セリ式～午前11時（第1市場）	
	海鮮工房～営業開始	

### 令和四年度 決算記帳指導・ 確定申告日程について

#### ◎決算記帳指導

一月二十四日(火)

二月十日(金)

#### ◎確定申告

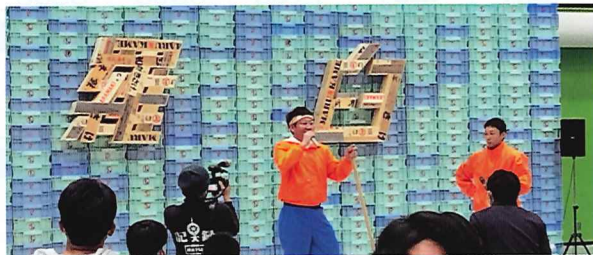
二月十六日(木)

三月十五日(水)

※記帳指導及び確定申告の会場は【役場】となっております。  
※決算記帳指導及び確定申告については、必ず期間内に済ませるようお願いいたします。

## シャケサミット2022

古い木製のさけ箱をリメイクして様々な作品を製作する企業「AR A M A K I」が道内各地で開催しているイベント「シャケサミット」を羅臼漁協定置青年会と「AR A M A K I」の共同主催で、十一月十二日に羅臼町民体育館「らうすほ」で開催しました。内容は羅臼漁協定置青年会と定置青年会の製品販売や羅臼高校生の大漁焼などの販売出店、さけに関するトークショー、定置青年会による秋さけセリ市、料理人ソウダルア氏による食のパフォーマンスなど、コロナウイルス感染拡大防止のため知床開きや漁火まつりの中止が続いているため、来場した町民が楽しめるお祭りの要素を取り入れた企画を実施しました。



子ども縁日で射的などの出店をしていたこともあり子供連れの来場者が多く、定置青年会のさけトバ掴み取りや「AR A M A K I」のクラフトブースも子供が集まり大盛り上がりでした。  
定置青年会の秋さけセリ市は会場の参加者の他に、セリ市の様子をオンライン配信して、配信を見ている人もセリ市に参加できるいままでない形で実施し、九州からセリ市に参加し、さけを競り落とす人もいました。  
いままでない催しで来場者が来るか不安な中での開催となりましたが、多くの来場者が来て楽しめる盛況なイベントとなりました。



# ! 3つの転倒予防



転倒による労働災害は最も多く、**全体の約25%**  
転倒によるケガの**約6割**が**休業1か月以上**のケガです!!

## 1 作業場所の整理整頓



## 2 作業場所の清掃



## 3 毎日の運動



▶ 転倒災害は、**大きく3種類**に分けられます。  
皆さまの職場にも似たような危険はありませんか？



厚生労働省では「STOP! 転倒災害プロジェクト」を推進しています。  
具体的な対策はこちらをチェック!



# 謹んで新春のお慶びを申し上げます

## 羅臼漁業協同組合

代表理事組合長 萬屋 昭洋  
 専務理事 木野本 伸之  
 筆頭理事 田中 喜代志  
 理事 官代 修  
 西村 雅樹  
 石田 一美  
 釣澤 光芳  
 濱澤 政巳  
 川口 昭  
 田中 英輔  
 石黒 敏  
 村椿 洋  
 寺澤 哲也  
 監事 石黒 敏  
 代表 監事 石黒 敏  
 外監事 寺澤 哲也

小定置漁業部会 部長 福岡 勝	養殖漁業部会 部長 相木 茂樹	うに漁業部会 部長 濱田 久吉	昆布漁業部会 部長 井田 一昭	定置漁業部会 部長 中谷 洋	刺網漁業部会 部長 官代 修	総代親潮会 会長 中谷 洋
青年部 部長 太田 大輔	女性部 部長 松田 眞弓	無線通信士会 会長 白幡 俊昭	ほたて貝漁業部会 部長 高田 紀人	すけそう刺網漁業部会 部長 石田 一美	潜水漁業部会 部長 松浦 利彦	いか釣漁業部会 部長 川口 昭